

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



## 内谷春日神社太々神楽が「ふるさとの祭り 2017in 浪江」に出演！

11月26日、浪江町で開催された「ふるさとの祭り 2017in 浪江」（主催：福島県他）に内谷春日神社太々神楽が出演しました。このイベントは、貴重な地域の民俗芸能や人々の絆の再生を図るため、平成25年度より開催されています。

内谷春日神社太々神楽保存会は、地域を挙げて保存・継承に取り組み、積極的に後継者の育成に努めていることが評価され、今回の出演に至りました。舞台では、力強い舞が特徴の「猿田彦」の演目を披露し、観衆の注目を集めていました。

内谷の神楽は、明治15年に三春地方から伝わった出雲流神楽です。現在、継承が途絶えている8座について、伝承された地方の「大倉の太々神楽保存会」（田村市船引町）との交流を図り、演目を復活させる取り組みを行っています。



▲大倉の太々神楽保存会より指導を受ける内谷の楽人



▲迫力の舞で観衆を魅了

後継者の育成にも力を入れていますが、課題もあると保存会の佐藤清二会長。「子ども太々神楽教室」は、一昨年より町内全域を対象に開催していますが、中学生以上になると継続した参加が難しくなるのが悩み。「大人でも興味のある方はぜひ一度練習を見に来てほしい」と呼びかけています。

先人たちが大切に受け継いできた、国見の誇りある伝統芸能。「神楽の里」として皆で支え、後世に伝えていきたいものです。



▲来場者の体験コーナーで神楽の魅力を伝える佐藤清二会長

## 奥山邸で優雅な紅茶の世界を堪能

12月17日、アフタヌーン・ティーパーティーを国登録有形文化財「奥山家住宅洋館」で開催し、日本紅茶協会認定講師の先崎キヨ子先生から英国式紅茶の美味しい淹れ方や作法を学びました。迎賓館としての奥山



▲華やかなティーセット



▲大正ロマンの洋館で憧れの茶会

家本来の魅力を活かした取り組みで、参加者からは、「素晴らしい洋館で楽しいお話を聴けて感動した」「至福の時を過ごせた」との声が聞かれました。

## 長障子遺跡発掘調査にて旧石器時代の剥片などが出土しました

県営貝田ほ場整備に伴う長障子遺跡（貝田字長障子・竹之内地内）の発掘調査現地説明会を12月3日に開催しました。今回の調査では、旧石器時代の石器素材である剥片（推定2～3万年前頃）や、縄文時代早期（約7千年前頃）頃の狩猟のための落とし穴、中世（13世紀後半頃）の屋敷跡が出土しています。

いずれも町内における本格的な発掘調査では初めての発見で、町の歴史を考える上で貴重な資料となります。

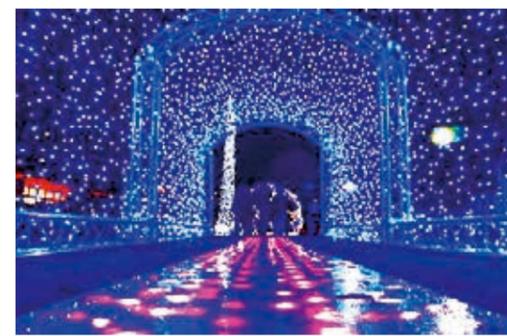


旧石器時代の遺物 剥片（今回の出土は左側）



▲狩猟用の落とし穴

## 第22回国見町フォトコンテスト『キセキの一瞬！投稿部門』Ⅲシーズン受賞者決定！



最優秀賞 高野歩夢『青の洞窟』

第22回国見町フォトコンテスト『キセキの一瞬！投稿部門』Ⅲシーズン（10月から11月期）の受賞者（最優秀賞1点、優秀賞2点）が決定しました。

『キセキの一瞬！投稿部門』では、デジタルカメラや携帯電話のカメラ機能を利用して撮影した写真を町公式フェイスブックに投稿し、作品の反響（「いいね！」の数）を参考に、総合的に審査して入賞作品を決定します。入賞者には自慢のふるさと産品が贈られます。



▲優秀賞 小田島守明『国見の農作業』



優秀賞 阿部英人『国见到福あり』

## 引き続き 応募をお待ちしています くにみのたからもの！部門

- ・カラープリント四切、4PW（ワイド四切）またはA4版とします。
- ・応募点数は一人3点まで。平成29年4月以降に撮影したものに限りです。
- ・デジタルカメラによる作品も可ですが、組写真や合成写真は認めません。

詳しくは町ホームページをご確認いただくか、問い合わせください。企画情報課総合政策室 ☎ 585-2217

## 応募・投稿期限 2月28日(木) 必着 キセキの一瞬！投稿部門

- ・Ⅳシーズンは12月から2月投稿分です。
- ・応募画像形式は1作品10MB以内のJPEGデータとします。
- ・応募点数は問いません。
- ・加工した作品は不可。「くにみのたからもの！部門」に同一作品は応募できません。



まつだ りあ



やまざき あいか



たけだ わたる

## くにみ幼稚園



たかはし れお

小さな天才たち